

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	高齢者の生理的特徴と変化		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	3年生		学期及び曜時間	前期	教室名	第2校舎303
担当教員	井上 海平	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師が業を行う施術所やディサービスを含む介護施設に多い、高齢者の生理学的な特徴と変化を理解し、より効果的な施術が行えるようにすることが目的です。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験評価:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
生理学改訂第4版(全国柔道整復学校協会編集)						
《授業外における学習方法》						
使用教材に指定している教科書「生理学 第4版(全国柔道整復学校協会編集)」を基に該当範囲の予習と復習を行うこと。適宜必要に応じて、図書館の書籍やJSTAGEなどで知識を深めることも必要である。						
《履修に当たっての留意点》						
カリキュラム改訂により新設された科目で、より臨床に近い内容を求められる科目となります。試験的な目的よりも自身の将来像を意識して履修してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	細胞の働きと加齢現象について理解する。		生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集)	基礎的な細胞についての知識を確認する。	
	各コマにおける授業予定	細胞のエイジング				
第2回	授業を通じての到達目標	体内水分量の変化と変化が与える影響を理解する。		生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集)	ヒトの体内組成を確認する。	
	各コマにおける授業予定	高齢者の体内水分量の変化				
第3回	授業を通じての到達目標	加齢による器官の変化を理解する①		生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集)	神経系と運動器の仕組みを確認する。	
	各コマにおける授業予定	神経系・運動器系の加齢変化				
第4回	授業を通じての到達目標	加齢による器官の変化を理解する②		生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集)	感覚器と皮膚の構造を理解する。	
	各コマにおける授業予定	感覚器系と皮膚の加齢変化				
第5回	授業を通じての到達目標	加齢による器官の変化を理解する③		生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集)	循環器と呼吸器の構造と働きを理解する。	
	各コマにおける授業予定	循環器系・呼吸器系の加齢変化				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	加齢による器官の変化を理解する④	生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集)	消化器系の構造と働きを理解する。
	講義形式	各コマにおける授業予定	消化器系の加齢変化		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者に多い疾患と障害を理解する	生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集)	高齢者の特徴を理解し病態を確認する。
	講義形式	各コマにおける授業予定	高齢者に多い疾患と疾患		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の運動と加齢について理解する。	生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集)	高齢者の運動機能についてを確認する。
	講義形式	各コマにおける授業予定	高齢者の歩行機能と平衡機能		